

あしよる

広報

2012

NO. 705



- 新年のごあいさつ
- 町長とのふれあい懇談会



町長 安久津勝彦

あけまして おめでとーございませう

町民の皆さまには、平成24年の輝かしい新春を、健やかに迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は、3月に発生した東日本大震災や世界的な経済不安による円高、国のTPP（環太平洋連携協定）への協議開始表明など、日本を揺るがす大きな出来事が発生しましたが、足寄町においては幸いに大きな災害もなく比較的平穏な1年であり、町政全般においても、町民の皆さまをはじめ、関係機関団体各位の温かいご支援の下、順調に推移することができましたことを心から深く感謝を申し上げます。

町の施策を振り返りますと、市街地活性化の拠点として一昨年から改修を行ってきたあしよる銀河ホール21が、4月にリニューアルオープンしたほか、高齢化が進む中で、いつまでも安心して暮らせる町をつくるため進めている「医療と介護・保健・福祉の連携システムの構築」として、町内病院機能における医療と介護の役割分担に向けて、第一歩を踏み出すことができました。10月には各地区でふれあい懇談会を開

催し、皆さまの貴重なご意見を伺うことができ、今後も多くのふれあいの時間を確保していきたいと考えています。また、7月には、十勝全市町村による連携・協力で地域住民の命と暮らしを守るため、定住自立圏形成協定を締結しました。今後もNPOや企業など民間の担い手を含めて相互に役割分担し、オール十勝で広域行政推進に取り組んでいきます。

自治体を取り巻く環境は、ますます厳しくなることが予想されますが「町自律プラン」と「町第5次総合計画」に基づき「住民一人一人がゆとりと豊かさを実感して暮らせるあたたかく快適なまち」の実現に向け、全力を注いでまいりますので、皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。結びに、町民の皆さまのご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



議長 吉田 敏男

新年のごあいさつ

町民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

平成24年の年頭に当たり、町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆さまには、日ごろから議会に対する温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は私たちにとって生涯忘れられないのではない1年となりました。

3月11日、わが国の観測史上最大となる「東日本大震災」が発生し、多くの死者や行方不明者を出す未曾有の大災害となりました。あらためてこの大震災による犠牲者に深く哀悼の意を表し、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

政府は昨年11月に「TPP（環太平洋連携協定）交渉参加に向け関係国との協議を開始する」と表明しました。畑作、酪農、畜産などの農畜林業を基幹産業とする十勝・足寄町において、関税撤廃を原則とするTPP協定が締結されれば、農林水産業のみならず食品加工業や運輸、観光等の関連産業に多大の損失が予想され、これは十勝の地域経済の根幹を脅かし、地域そのも

のが成り立たなくなる恐れがあります。さらに医療や公共事業などさまざまな分野に影響が及ぶ可能性があり、国民生活の根幹にも関わる問題でもありません。政府には十分な情報提供と国民的な議論を行っていただきたいと思うところでもあります。

さて、相変わらず世界の経済情勢は混乱が続いており、本町を取り巻く環境も極めて厳しく、景気の低迷、雇用環境の悪化、さらには基幹産業である農畜林業を取り巻く厳しい環境など、試験の時代となっております。

足寄町議会は、執行機関とともに、地域住民の代表として町行政を取り巻くさまざまな課題の克服のため、より一層の努力を傾注してまいれる所存であります。

本年が、町民の皆さま方に、明るい未来と希望に満ちた一年でありますことを祈念し、新年のごあいさつといたします。



町民の声を行政運営に 町長とのふれあい懇談会

町民と町長との直接対話の場「町長とのふれあい懇談会」を10月27日から11月2日にかけて町内4会場で開催しました。町民の声を耳を傾け行政運営に反映させることや、情報を共有し協働のまちづくりの実現を目的としています。今回は、町の主要施策の一つ「医療と介護・保健・福祉の連携システムの構築」をメインテーマとし、取り組み状況を説明後、地域における課題やまちづくりについて懇談しました。

医療と介護・保健・福祉の 連携システムに向けて

説明・安久津勝彦町長

現在、町では「いつまでも安心して暮らせるまちづくり」を目指して連携システムの構築に取り組んでいます。本町の人口の推移（高齢化率）は、平成12年4月末日現在の25・58%が平成23年3月末日現在では33・11%に増え、要介護等の認定者数は平成12年の310人から平成21年には480人と約1・5倍に増加しています。

介護保険サービスの利用者は、全国と比較すると施設介護サービスの利用が多い一方、居宅サービスの利用が少ない状況で、バランスの悪い利用状態と言えます。今後も高齢者が増える中で、町民個々の実態に合った介護サー

ビスが利用できるように、また、介護保険制度を安定して運営するために次のような取り組みが必要と考えています。

- ① 皆さんの福祉に関する相談や悩み事および介護サービス等の一括利用調整に対応する「(仮称)ソーシャルワークセンター(なんでも相談所)」の機能強化を行います。
- ② 平成24年4月に我妻病院の病床を介護療養型老人保健施設(新型老健)に転換いただき、町内医療機関の医療と介護の機能分担を図ります。
- ③ 平成25年度にデイサービスや短期宿泊事業等を行う小規模多機能型居宅介護施設の開設を目指します。
- ④ 平成26年度に高齢者複合型専用住宅やグループホーム、24時間訪問介護等の開始を目指します。

連携システムに関する意見交換

質問…平成24年4月から我妻病院の入院部分が新型老健へ転換し、入院患者の入れ替えが生じると思いますが、病院間の連携が心配ですが？

回答…入院患者本人および家族にご理解をいただきながら、徐々に両病院間で患者の入れ替えを行っていきます。両病院の医師・看護師が交流を行いながらカルテの引き継ぎなどスムーズに移行できるよう密接に情報交換と協議を行うって対応していきます。

質問…在宅介護を進めるとの説明ですが老老介護など、介護者の負担が心配ですが？

回答…全ての人に対して在宅介護を勧めるわけではありません。全国で社会的にも問題になっている老老介護など、在宅介護には条件が合う人合わない人がおり、特別養護老人ホームへの入所を勧める場合もできます。同ホーム（ベット数56床）を活用しながら我妻病院の新型老健（同50床）への転換により対応していきたいと考えております。さらに、在宅介護を支えるため、訪問診療や訪問リハビリなどを充実させていく予定です。

質問…平成25年度から24時間訪問介護に取り組むようですが、広大な足寄町で24時間訪問介護を進めることは不可能ではないですか？

回答…ご質問のとおり利用者が点在しているのは難しいと考えています。そのため市街地区に建設予定の高齢者複合住宅の整備が重要となります。病院に入院中の方が退院時に一時的に居住するなど、在宅介護を行う上での役割を担っていくことになると考えています。

質問…新たな介護サービスの自己負担はどの位になるのですか？

回答…新たなサービスは全国的にまだ例がなく、国の基準も未定状況です。しかしながら、国の試算では利用したサービスの量に関わらず、一定料金となるだろうと言われています。

質問…市街地に空き地が多く見受けられ、面会のしやすいから特別養護老人ホームを建設する予定はないですか？

回答…老人ホームの建設は、皆さんが納めている介護保険料の増額にもつながり現在のところ予定していません。なお、市街地地域内の移動手段としてコミュニティバスの運行ができないか現在検討を進めています。

が低く、また、3月11日に発生した東日本大震災により、さらに優先度が低くなるだろうとの回答を受けました。町主体による整備は、事業費が膨大で現在の国庫補助率では財政的に困難なことから、引き続き、国、携帯電話事業者等に携帯電話エリア拡大について要望を行っていきます。

質問…テーマを設けた懇談会の開催となっているが、来年度以降の開催についてお聞きしたい。

回答…自治会や各種団体などの要請を受けて地域に向く「まちづくり懇談会」を開催してきたが、近年は開催数が減ってきており、今回はテーマを設けた開催としました。十勝管内の状況を見ると、年度当初に開催しているところもあります。今回の結果を踏まえ再検討し、次回開催に向け調整していきたいと考えています。



市街地会場

まちづくりに関する意見交換

質問…エゾシカが増え、今年から狩猟期間が長くはなっているが、駆除にもつと力を入れてほしい。また、国有林の入れ禁止箇所が多いと思うが、入れさせてもらえないですか？

回答…エゾシカは全道的に生息数が増えており、駆除に力を入れなければならぬと考えています。しかし、銃器による捕獲は日没後から日の出まで禁止されていることや捕獲後の残渣の問題もあり苦慮しているところです。引き続き猟友会と協力して対処していきます。また、国有林内の入れは、十勝東部森林管理署の協力により、本年10月から施業箇所のみ入れ禁止に変更されており、施業箇所以外への立ち入りは可能となっています。



螺湾会場

質問…患者輸送バスを利用して医療機関に通院しているが、シルバーカー（高齢者用押し車）が補助席にぶつかり乗降しにくい。補助席を撤去し乗降しやすくしてもらえないか？

回答…町では各方面別に3台の患者輸送バスを定期的に運行し、利用者数はそれぞれ15人から20人の状況です。シルバーカーの利用者がいる白糸・大誉地方の車両については、乗降しやすいうような車両の前席を優先席とし、またシルバーカーの置き場所についても確保することいたしました。今後も利用者の乗降介助を継続するとともに利用状況の把握に努め、必要に応じて座席および補助席の撤去等を検討させていただきます。

質問…私の住んでいる地域は、デジタルの地方放送が見られず、また、インターネットや携帯電話が使えない地域です。生活する上で困っており、利用できると整備してもらえないか？

回答…難視世帯には暫定衛星放送（東京キー局）により地上デジタル放送を視聴していただいています。この暫定衛星放送は平成27年3月末に終了予定であり、町では、抜本的な対策を講じるため難視世帯の調査を行いました。難視世帯は、およそ220世帯に及び、本年10月現在で高性能アンテナ対策による対応が可能と考えられる11世帯を除いた209世帯について、無線または有線共聴施設を平成24・25年度の2カ年で整備する計画としています。有線共聴施設の幹線伝送路（光ケーブル）は、将来的に携帯電話や高速インターネットでの利用ができるよう、国等の補助制度上可能であれば多芯の光ケーブル敷設を検討しています。

また、携帯電話の利用は、一般生活や業務上はもとより災害時・緊急時の通信手段として重要であり、町内全域で利用可能となることが理想であります。各携帯電話事業者にエリア拡大について伺ったところ、利用者数が少数の地域にあつては、施設整備の優先度

質問…町道の補修等について
①旭丘喜登牛線舗装（芽登温泉への道路）
②開北芽登線補修
③上利別北2条通補修
④上利別本通1丁目通補修

回答…①現在のところ、国・道などの補助事業を活用した整備事業に該当せず、舗装整備は難しいと考えています。②③④冬期間を迎えるため、本年度中の補修は難しいことから、平成24年度に補修を行います。



②開北芽登線補修要望箇所



③上利別北2条通補修要望箇所

④上利別本通1丁目通補修要望箇所



芽登会場



上利別会場

土砂災害警戒区域および 土砂災害特別警戒区域が指定されました

大雨による土砂災害は、近年全国各地で発生しており、私たちの暮らしと生活を脅かしています。そのような土砂災害（がけ崩れ、土石流）から住民の命を守るために、土砂災害防止法が施行されました。同法は、土砂災害の発生が予測される箇所において砂防施設の整備のほか、災害が発生する恐れのある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備や建築物の安全性の強化、開発行為の制限等も行うこととなります。道は、町内で初めて土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域の指定を行いました。

▼今回指定された区域等

指 定 日	指定区域名	区域の表示	土砂災害の発生原因となる自然現象の種類
平成23年11月8日 (北海道告示第667号)	上大菅地川	足寄町大菅地 ※下図のとおり	土石流



- ◆土砂災害警戒区域等の指定情報は、次の場所で閲覧することができます。
 - ・役場総務課企画財政室
 - ・北海道土砂災害警戒情報システムホームページ
(<http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/others/displayDesignatedList.do?municipality=01647>)
- ◆土砂災害警戒区域等の指定は今後も行われる予定となっておりますが、指定前には関係者の意見を伺う住民説明会の開催を予定しています。

「土砂災害警戒区域」って？

- ◆土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じる恐れがある区域。
- ◆土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
土砂災害警戒区域の中で、建物等に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じる恐れがある区域。

どんなことに気を付けたらいいですか？

- 土石流が発生する前には、次のような現象が起こることがあります。このような現象を見掛けたらすぐに役場に連絡し、早めに避難してください。
- ・川の水が濁る。木が流れてくる。
 - ・雨が降っているのに、川の水が急に少なくなる。
 - ・地鳴りや山鳴りなど、山全体がうなっているような音がする。

詳細 役場総務課企画財政室 ☎25-2141内線311



11.20 カラオケチャリティーショー

第33回歳末助け合いカラオケチャリティーショー（町カラオケ同好会主催）が町民センターで開かれ、約400人が訪れました。ショーは3部構成で行われ同会会員などによるカラオケ等が披露され、たくさんの拍手が送られていました。収益金の一部は東日本大震災の義援金に寄付されました。



11.27 女性のつどい

第32回足寄町女性のつどい（実行委員会主催）が町民センターで開催され、女性を中心に町内外から約260人が参加しました。健康体操や家庭でできる省エネの取り組みについて学んだほか、フリーアナウンサーの宮本隆治氏による「ゆとり・ユーモア・帰りは元気！」と題した基調講演などが行われました。



11.30-12.6 おもちをべったん

町内のへき地保育所（芽登保育所、上利別保育所、螺湾保育所）で保護者が参加してもちつきが行われました。最初にお父さんたちがお手本を見せた後、子どもたちは「よいしょ！」と大きな声を出して力強くもちをつきました。つきたてのモチはみんなで丸めて、おいしく食べました。



11.30-12.2 パソコン教室

パソコン教室（町教育委員会主催）が足寄小学校で開かれ、町パソコン研究会会員指導の下、エクセル実務編（中級者向け）と年賀状づくり編（初心者向け）の2講座が行われました。参加者は、エクセル実務編で関数の入力や時間の計算などを、また年賀状づくり編では自分だけのオリジナル年賀状作成を体験しました。

町民防災講座

第48回 子ども向け、防災講座
災害を予想する地図!?

本号では、子ども向け防災Q&Aをお知らせします。



災害を予想する地図!?

博士！博士！博士！
(ドテッ！ガシャン！)
いってて……
ありや、大丈夫か？大地。相
変わらず騒々しいのお。

博士！前に、災害に備えるためには家族と話し合ったらいいって言っていたよね？
うむ「防災はまずできることから」という話じゃな。
うん。だからあの後、早速父ちゃんに「災害が起きたらどうする？」って聞いたんだよ。

ほほお。
良い心掛けじゃ。
そうしたら「うちの家の辺りは、しばらく災害が起きていないから心配はいらないよ」って言われたんだ。これって本当!?
ふむ、では、足寄町役場で作っている「ハザードマップ」で確かめてみよう。この地図は、どこでどのくらいの災害が起こるか予想したのじゃぞ。



そっか。「ハザードマップ」ってこうやって見るんだね。
うむ。家族で防災を考える時は、まず自分の家がある場所にどんな危険があるのか、確かめることが大事なんじゃ。「ハザードマップ」が家に無ければ、役場でもらうことができるぞ。

避難して避難?
私も家族と話し合ったわ。それで、いざというときには、近くの公園に行くことに決めたの。
ほお。それは良いことじゃな。でも、うかない顔してどうした？
だって、その公園って直ぐそばに大きな川が流れていて、なんだか心配なの。
ふむ、確かにその公園は水害のときには危険な場所になるから、避難所に指定されていないようじゃな。洪水ハザードマップには、足寄町が指定する洪水時の避難所が載っているぞ。

そっか！早くみんなに知らせなきゃ。完全に安心はない
このように足寄町ではハザードマップなど事前に知っておくべき防災の情報をホームページで公開し

ておるから、確認しておくといいじゃろ。ただし、注意しなければならぬところがある。それは、そこに書いてある通りにすれば絶対安全というわけではないということじゃ。想定していない危険な場所があったり想定以上の災害が起こったりすることも。避難所までの道に、崖崩れや土石流などが起こりそうな危険な場所はないか。想定以上の災害が起こった場合に避難所からさらに安全な場所へ移動することができるか。など、日ごろから家族で歩いて確認しておくことがとても大事なじゃ。

まずはできることからね！
早速、家族と避難所まで歩いてみるわ！
うむ。良い心掛けじゃ。
大地も分かったか？
分かったよ！
ありがと、博士！

(環境防災総合政策研究機構 研究員 広田達郎)
ホームページアドレス
<http://town.ashoro.hokkaido.jp>
詳細 役場総務課企画財政室
☎25-2141内線311

私 自然探訪

第77回『トビムシによせて』

(九州大学北海道演習林 菱拓雄)



九州大学北海道演習林の優占種ベソッカキトビムシの絵。シッコのような跳躍器でジャンプするので跳び虫。前に3つ、後ろに離れて1つ目があり、離れた目が涙に見えるのが名前の由来。

私
はこの4年間、
足寄の森でトビムシという虫の研究をしてきました。トビムシは土壌をすみかとする体長0.3-1.5mmほどの小さな虫で、日本で360種が報告され、植物のあるところなどどこにでもいます。森では1㎡に約4万匹生息し、落ち葉に付いた菌糸などを食べています。トビムシは菌を食べることで菌類の新陳代謝を促したり、特定の菌類がはびこるのを防いだりして土の働きを良くしています。しかし樹木が二酸化炭素を固定したり、微生物が落ち葉を分解して養分を作ったりすることでバイオマス資源の供給や地球環境の維持に果たしている役割の重要性に比べれば、トビムシの役割はごく小さく間接的なものです。確かにトビムシは小さくて地味ですがとしないし、胸を張って

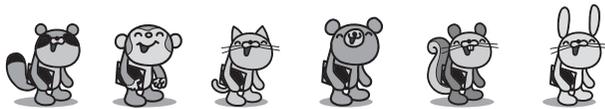
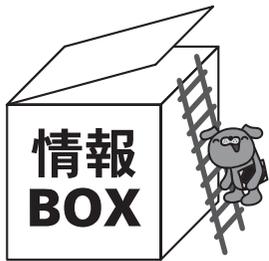
森の環境を守り、我々の役に立っている、といえるほどの影響力はありません。トビムシが小さな役割を果たすのは、ただそれぞれが一生懸命毎日暮らして死んでいく結果に過ぎません。われわれが世界や国の動向に知らず知らずのうちに巻き込まれながら今ここで暮らしている、小さな地域と関わって生きているのと同じで。土にも暮らしがあり、だからこそ私は一握りの土にも愛を感じられるのです。
詳細 九州大学北海道演習林
☎25-2608

みんなの国民年金 20歳から国民年金に加入しましょう

国民年金は老後の生活保障だけではなく、万が一病気がケガで障がいが残ったときや一家の働き手が亡くなったときなど、あなたや家族を守ります。ただし、加入の届け出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられない場合もありますので、「あの時に…」と後悔する前に国民年金に加入しましょう(厚生年金等に加入中の20歳の方は手続きが不要です)。
なお、学生の方や収入が少なく保険料の納付が困難な方は、「学生納付特例」や「若年者納付猶予」など保険料の支払いを猶予する制度があります。

被保険者の種類
《第1号被保険者》
20歳以上60歳未満の自営業者、学生、無職の方が対象です。国民年金保険料は月額15,020円(平成23年度)です。
《第2号被保険者》
会社員、公務員などが対象です。

《第3号被保険者》
第2号被保険者に扶養されている配偶者が対象です。保険料の負担はありません。
年金手帳は大切に保管しましょう
公的年金制度では、全ての制度に共通して使用される基礎年金番号が用いられています。国民年金や厚生年金に加入すると基礎年金番号が記載された年金手帳が交付され、加入記録や保険料の納付状況などがこの番号で管理されます。
年金手帳は、年金に関する手続きの際に必要となりますので大切に保管してください。
詳細
帯広年金事務所
☎0155-12518113
役場住民課住民戸籍年金担当
☎25-2141内線211



募 集

自衛官募集

募集種目	募集資格	受付期間	試験日
自衛官候補生 (男子)	18歳以上 27歳未満の方	年間を通じて 受け付け	受付時に 通知

自衛隊帯広地方協力本部ホームページアドレス

<http://www.mod.go.jp/pco/obihiro>

詳細 自衛隊帯広募集案内所 ☎0155-23-8718

お知らせ

宝くじコミュニティ助成金で 自治会案内看板を整備

町では、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の助成を受け、町内4自治会5カ所の案内看板を整備しました。この事業は、同センターが宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、コミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を目的として行われるものです。



詳細 役場住民課住民生活担当 ☎25-2141内線225

確定申告により 所得税が還付になる方へ

税務署職員による還付申告の受け付けを行います。所得税が還付になる方は、次の日程で申告書を出していただくことができますので、ご利用ください。申告の際には源泉徴収票など必要なものを忘れずにご持参ください。

日時 2月10日(金)
午前10時～午後4時
(正午～午後1時を除く)
場所 役場会議室1
詳細 十勝池田税務署 ☎0155-572-1171

経済センサスー活動調査を実施します

わが国の全産業分野における事業所および企業の経済活動の実態を明らかにするため、経済センサスー活動調査を実施します。調査票は1月末日までにお届けしますのでご協力をお願いします。

詳細 役場総務課企画調整担当 ☎25-2141内線319

狩猟免許を取得しませんか

町内でエゾシカ等による農作物被害が拡大しており、町では被害を減らす対策の手段としてハンターの養成を行います。鳥獣の捕獲は、鳥獣保護法で日没後から日の出前まで銃器を使用した捕獲が禁止されているため、町では夜間の捕獲が可能な「わな」による捕獲を推進しています。

町有害鳥獣被害対策協議会では、2月に実施される狩猟免許試験で一人でも多く合格してもらうため、狩猟免許試験予備講習会の参加者を募集するとともに、その費用を助成します。

《狩猟免許試験予備講習会》
日時 1月29日(日)
午前9時～午後5時
場所 帯市東コミュニティセンター
助成額 1・2種 7,500円
網、わな 5,000円
※狩猟免許試験の日程など、詳しくは、お問い合わせください。
申込先・詳細 役場経済課
林業商工観光室林業振興担当 ☎25-2141内線242

法務局休日相談所を 開設します

法務局では、遺言や相続、人権に関する相談を無料で行う「全国一斉！法務局休日相談所」を開設します。事前予約は不要ですので、お気軽にご利用ください。

日時 2月12日(日)
午前10時～午後4時
場所 とかちプラザ
詳細 釧路地方法務局総務課 ☎0154-31-5000

足寄消防団出初式				
分団名	日	時	サイレン吹鳴	場 所
第1分団	1月4日(水)	午前10時～	午前8時	消防総合庁舎
第2分団	1月5日(木)	午前11時～		大嘗地老人健康増進センター
第3分団	1月7日(土)	午後1時30分～		芽登老人健康増進センター
第4分団	1月5日(木)	午後1時30分～		上利別老人健康増進センター
第5分団	1月7日(土)	午前10時30分～		蝶湾老人健康増進センター

冬の暴力追放運動実施中

暴力団等の反社会的勢力から不当な要求を受けた場合は、一人(一企業)で悩まず、すぐに警察や弁護士に相談しましょう。

詳細 本別警察署 ☎22-0110

足寄百年史

(上・下巻、資料編)

好評発売中

ご購入は...役場総務課総務室
広報広聴担当まで

善意のご寄付・ご寄贈 ありがとうございます

町へ
(教育・文化の振興のために)
・故我妻敏子さんの遺志により
池田千鶴さん(南4条2丁目)、
我妻真澄さん(同)から
500万円



安久津勝彦町長、池田千鶴さん(左から)

本別から

第8回ほんべつ雪あかりナイト

スノーキャンドル、アイスキャンドルが幻想的な夜を演出します。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

日時 2月4日(土) 午後4時～8時

場所

道の駅ステラ★ほんべつ～銀河通り・大通り

内容

キャンドルコンテスト、ゲーム、ジャンボすべり台、フォトコンテスト、お楽しみ市(屋台など)

詳細 本別町商工会 ☎22-2529

陸別から

第31回しばれフェスティバル

冬の夜空に花火が満開。真冬の祭典。「しばれフェス」で皆様のお越しをお待ちしています。

日時 2月4日(土) 午後6時～
5日(日) 午前9時30分～

場所 ウエンベツイベント広場
内容

よしもとお笑いステージショー、しばれ花火、ジャンボ滑り台、キャラクターショー、大抽選会などほかにもいろいろ用意しています。

人間耐寒テスト参加者募集(完全事前予約制)

・参加料 4,000円
・定員 200人
・受付期間 1月11日から14日まで

申込先・詳細

しばれフェスティバル実行委員会

☎27-3990

うちの人気者

掲載を希望される方は、役場総務課総務室広報広聴担当まで

辻本 ^{ゆうご}雄吾^{ちん}

(平成21年12月1日生まれ)
タイヤショベルなど重機が大好きな3人兄弟の末っ子です。毎日お兄ちゃんに遊んでもらい、家の中はいつもにぎやか。これからも元気に育ってね。

雄二・かずみ^んの子
(下愛冠1丁目)



早引 ^{とうま}冬真^{ちん}

(平成21年12月9日生まれ)
わが家のアイドル冬真くん。素敵な笑顔と得意のダンスでいつも家の中を明るくしてくれます。いっぱい食べて、いっぱい遊んで大きくなってね。

透・あゆみ^んの子
(下愛冠2丁目)

村山 ^{しげく}肇^{ちん}

(平成22年1月9日生まれ)
ショベルカーや電動バイクが大好きで、将来は家族3人でツーリングに行けたらいいね。動物の大好きな、優しい子に育ってね。

弘幸・美保^んの子
(茂喜登牛)



今月の表紙

12月2日に行われた上利別保育所での「もちつき」のナップです。

広報あしよろ1月号 No.705

発行：足寄町
編集：総務課総務室 ☎25-2141 内線334
〒089-3797 北海道足寄郡足寄町北1条4丁目48番地1
<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp>

編集後記

☆あけましておめでとうございます。昨年は、東日本大震災や大水害など暗い話題が多くありましたが、一方、日本人の強さや絆の大切さを改めて確認することもできました。

☆本号自然探訪に登場している『ベソッカキトビムシ』のように、世界や国の動向に巻き込まれながらも、毎日一生懸命「広報あしよろ」を作っていこうと思います。

☆今年も「広報あしよろ」をご愛読くださいますようよろしくお願いいたします。